

『一人の笑顔のために』

卒業証書授与式 そして 3. 11

明日は、いよいよ卒業式です。3年生にとっては、9年間の義務教育を終え、いよいよ自ら選んだ道に一步を踏み出す時でもあります。

これまで、多くの人から支えられ守られ、この日を迎えることができたことに感謝しなければいけません。

『3月11日』卒業式が近くなると、10年前のこの日を思い出します。誰も忘れることは出来ないでしょう。

卒業式を迎え、新たな一步を踏み出すはずだった多くの命がこの日の東日本大震災で亡くなった事実を考えると、卒業式を無事に迎えられることが、どんなにありがたいことかを思い知らされます。

宮城県石巻市立大川小学校で、津波の犠牲になった同級生や先生に向け、当時の5年生4人がつくった詩を紹介します。

大好きだった みんなへ そして先生へ

ぼくたちは毎日楽しく学校に通っています
みんな どうしていますか？
言いたいことがいっぱいあり過ぎて
何からつたえていいかわからない
それがほんとうの気持ち

でも一番伝えたい言葉はありがとう ありがとう
先生やみんなと過ごした時間を 今も思い出す
休み時間にいっしょに遊んだこと
みんなと一緒に食べた給食
漫画やゲーム こわい話で盛り上がったこと
一緒にプレーしたバスケットボール
みんなみんな大切な時間
分からない時にやさしく教えてくれた
苦手な勉強だって頑張ることができた
困ったときには助けてくれた
みんなの「がんばれ」の声が今も聞こえるよ

笑顔いっぱいいつでも優しくしてくれた先生
迷惑もいっぱいかけてしまって ごめんなさい
先生とみんながいてくれたから
どんなことでも楽しかった
大好きだよ ありがとう ありがとう

あの日からいろいろなことが
変わってしまったけど
いつもみんなと一緒にいることは変わらないよ
先生もみんなも一緒に
この教室にいるんだって思っているよ
花山合宿の時にはみんなの写真を持って行ったよ
先生もみんなも
きっと来てくれていると思ってがんばったよ
運動会だって 今日の学習発表会だって
きっとみんながそばにいてくれると思っているよ

会いたい 会いたい
先生に会いたい
ぼくたちの大事な大事な友達に会いたい
会って前と同じように一緒に遊びたい
同じような生活を送りたい
みんなのことを思うと まだまだ胸が痛むけど
ずっとずっと忘れないよ
何があってもずっとずっと友達だからね

だから さよならは言わないよ その代わりに
ありがとう ありがとう ずっと一緒だよ

